

# 膠原病をもつ子どもと 働くを考える ~ハイブリッド開催~



憧れの大人になる・夢をかなえる鍵を見つけよう！

こんなお悩みにアプローチ！

参加費  
無料

疾患のことは言う？言わない？

やりたいこと優先？できること優先？

疾患をもっている大人は、どうしているの？

2024年

12月7日(土)

13:30 - 15:30

会場；北海道難病センター3F大会議室  
(札幌市中央区南4条西10丁目1010-1)

主催・お問い合わせ；  
北海道小児膠原病の会  
hokkaido.syoni.kogen@gmail.com

## 参加対象；

膠原病の子ども・家族、医療関係者、教育関係者、支援者、難病者の働くに関心のある方、医療・福祉・教育分野の学生、膠原病以外の慢性疾患をお持ちの方にも身近な内容です。

## 第1部；聞く時間

山田純一 ぴりかれら行政書士・社会福祉士事務所 代表

主に成年後見業務を中心におひとり様や障がいを持つ方々の財産管理、身元引受、権利擁護活動を行っています。遺言作成や亡くなった後の葬儀、納骨などを行う死後事務を受任するなど、生前から死後まで代理人として活動しています。医療ソーシャルワーカー歴20年のご経験があり、医療連携介護連携等が専門分野です。今回は病院との上手な付き合い方について、お話いただけます。

## 膠原病患者さん2名

実際に疾患の通院・治療を続けながら社会人として生活するお二人からリアルなお話をお聞きします。

## 第2部；考える時間\_グループワーク

小慢研究会の就労シートのアレンジ版「私の説明書」を使って、将来のことを考えてみましょう。大人になった自分に「良いね」と言えるように、今、何を準備できるでしょうか。

お申込み

会場



オンライン



協力  
(株)ピアハーモニー



YouTube「masayaのおしゃべり喫茶」

